



朝五中だより

令和 元年 10月1日発行
朝霞市立朝霞第五中学校

〒351-0031 朝霞市宮戸 1580 HP <http://www.asakadai5chu.city-asaka.ed.jp>
TEL 048(471)2236 FAX 048(476)1328 E-mail 5chuu@asaka-c.ed.jp

地域と共に歩む学校

校長 原口 憲充

お彼岸を過ぎたらすっかりと秋らしくなりました。草むらでは虫たちの演奏会が毎日開かれるようになり、校庭の金木犀も小さな黄色い花を咲かせ、校内は秋の香りに包まれています。

今年度も半分が過ぎました。私自身、今年度の目標を再確認し、気持ちを引き締め取り組んでいこうと考えるこの頃です。

さて、10月20日は本校の開校記念日です。昭和54年4月1日、朝霞第二中学校の生徒増加に伴い、分離・独立して開校した本校は、10月20日に開校記念式典を行ったことを受けて、この日を開校記念日としたそうです。

開校に当たっては様々な苦労があったと聞いております。初代校長であった 柏慶次郎先生（元朝霞市教育委員会教育長）のリーダーシップのもと、教職員と生徒、保護者が一丸となってこの学校を創造したことは並大抵の苦労でなかったそうです。また、朝霞第五中学校の開校並びに落成記念誌によれば、開校当時の保護者の方から「中学校の新築、それが宮戸に決定したと聞かされた時の喜びは、一入（ひとしお）なものでした。着々と完成に近づく五中を眺めながら美しい自然と恵まれた環境の中で子どもたちが伸び伸びと育ててほしい、思う存分に学んでほしい、そして、心の豊かな、人を思いやることのできる人間に成長してほしいと、様々な思いを寄せながら、五中の開校を待ちわびておりました。」と願っていたことが記されていました。さらに、当時の地域の方々からのご支援も絶大なものであり、学校の環境づくりには多くの方々のご好意とご協力をいただいた記録もありました。このように、多くの先達の方々の願いと思いがこの学校にはあふれています。

開校から41年。時代は流れ、様々なものが変わったように思います。しかし、本校では開校当時から変わらない「きれいな学校」、「あいさつ」、そして「何事も一生懸命に取り組む生徒」の育成に、これからも職員一同全力で取り組んでまいりたいと考えております。

先日、私が下校指導をしているときに、近くで農作業を終えたおじいさんが、「先生、ここの草刈るよ。これじゃ子ども達、信号待ってるの危ないよねえ」と言って、五中の信号脇の草を鎌で刈ってくださいました。こんな出来事からも、この学校と子ども達が、地域の方々に日々見守られ、大切にされていることを感じます。朝霞第五中学校はこの地にあり、そこに暮らす方々に育てられている学校です。そのことを感謝し、これからも一步一步、歴史を積み重ねてまいりたいと思います。